山梨県学力把握調査 中学校 英語

実施生徒数（人）	設問数（問）	県正答率（%）	全国正答率（%）	県−全国正答率（ポイント）
5,845人	33問	56.2	55.9	0.3

		県正答率（%）	全国正答率（%）	県−全国正答率（ポイント）
領域	聞くこと	53.5	55.3	−1.8
	読むこと	60.2	60.6	−0.4
	書くこと	53.0	49.9	3.1
観点	知識・技能	61.6	62.5	−0.9
	思考・判断・表現	49.7	48.0	1.7
	主体的に学習に取り組む態度	51.4	50.9	0.5
解答形式	選択式	60.9	62.2	−1.3
	短答式	56.6	53.6	3.0
	記述式	45.1	42.0	3.1

設問別正答率

通し番号	解答形式	観点			領域			問題の内容	出題のねらい	県正答率（%）	全国正答率（%）	全国との差（ポイント）
		知	思	態	聞	読	書					
1	選択	◎		◎	◎			リスニング（内容理解）	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。（数）	82.4	87.4	−5.0
2	選択	◎		◎	◎				絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。（状況）	29.5	31.9	−2.4
3	選択	◎		◎	◎				絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。（教科）	56.2	53.7	2.5
4	選択	◎		◎	◎			リスニング（対話文の応答）	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。（どこにいるかとたずねられて）	51.7	51.3	0.4
5	選択	◎		◎	◎				対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。（何時に来たかとたずねられて）	54.5	58.8	−4.3
6	選択	◎		◎	◎				対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。（彼はだれかとたずねられて）	49.9	52.4	−2.5
7	選択	◎		◎	◎			リスニング（さまざまな英文の聞き取り）	英文の概要を聞き取ることができる。	92.9	97.3	−4.4
8	選択		◎	◎	◎				英文の要点を聞き取ることができる。	49.8	53.9	−4.1
9	記述		◎	◎	◎				英文を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを英語で答えることができる。	14.7	11.4	3.3
10	選択	◎				◎		語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。（一般動詞の過去形の疑問文）	47.0	47.4	−0.4
11	選択	◎				◎			語形・語法を理解することができる。（疑問詞when）	60.5	61.8	−1.3

12	選択	◎				◎		語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。（be動詞were）	52.9	50.6	2.3
13	選択	◎				◎			語形・語法を理解することができる。（代名詞の所有格）	40.9	41.7	−0.8
14	選択	◎				◎		語彙の知識・理解	対話文の情報を正しく読み取ることができる。	91.9	94.8	−2.9
15	選択	◎				◎			英文の情報を正しく読み取ることができる。	88.6	93.6	−5.0
16	選択	◎				◎		さまざまな英文の読み取り	英文と情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	47.8	46.6	1.2
17	選択		◎			◎			必要な情報を読み取ることができる。	59.7	61.0	−1.3
18	選択		◎			◎			対話の流れと表から、登場人物の適切な発言を選ぶことができる。	66.5	66.8	−0.3
19	選択		◎			◎			対話の流れと表から、適切な語句を選ぶことができる。	58.3	59.4	−1.1
20	選択	◎				◎		長文の読み取り	チラシの内容を把握することができる。	61.2	61.8	−0.6
21	選択	◎				◎			代名詞Theyの内容を把握することができる。	62.4	62.0	0.4
22	選択		◎			◎			チラシの概要を理解することができる。	73.6	72.0	1.6
23	短答		◎			◎			読み取った内容をふまえて、対話文を完成させることができる。	31.5	28.6	2.9
24	短答	◎					◎	単語の並べかえによる英作文	英文を正しい語順で書くことができる。（〜's＋名詞）	50.8	42.6	8.2
25	短答	◎					◎		英文を正しい語順で書くことができる。（現在進行形の否定文）	87.5	89.5	−2.0
26	記述		◎	◎			◎	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。（whichを使ってどちらかをたずねる）	51.6	55.1	−3.5
27	記述		◎	◎			◎		対話の流れに合った英文を書くことができる。（「いっしょに行くことができるか」と相手を誘う）	20.1	17.8	2.3
28	記述		◎	◎			◎	情報に基づいて書く英作文	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。	54.6	53.0	1.6
29	記述		◎	◎			◎			36.6	31.1	5.5
30	記述		◎	◎			◎		与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制のcanを使った肯定文を正確に書くことができる。	50.3	44.5	5.8
31	記述		◎	◎			◎	3文以上の英作文	自分のことを名乗る文を書くことができる。	75.9	73.2	2.7
32	記述		◎	◎			◎		学校生活に関することや、学校生活で好きなことを書くことができる。	54.9	49.5	5.4
33	記述		◎	◎			◎		テーマに沿った3文以上の英文を書くことができる。	47.1	42.5	4.6

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。（知）知識・技能、（思）思考・判断・表現、（態）主体的に学習に取り組む態度
【領域について】（聞）聞くこと、（読）読むこと、（書）書くこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
24	50.8	42.6	短答	8.2
問題の内容	単語の並べかえによる英作文			
出題のねらい	英文を正しい語順で書くことができる。（～'s＋名詞）			
通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
30	50.4	44.5	記述	5.9
問題の内容	情報に基づいて書く英作文			
出題のねらい	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制のcanを使った肯定文を正確に書くことができる。			
通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
32	54.9	49.5	記述	5.4
問題の内容	3文以上英作文			
出題のねらい	学校生活に関することや，学校生活で好きなことについての文を書き表すことができる。			

【課題が見られる設問】☆次のページに「領域統合」に取り組むための授業例を提示

通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
8	49.8	53.9	選択	−4.1
問題の内容	リスニング（さまざまな英文の聞き取り）			
出題のねらい	英文の要点を聞き取ることができる。			
授業改善の手立て	目的をもって英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるように指導したい。そのためには、聞く活動の前に、教師からの発問等により場面設定や話し手の立場などを明確にすることが大切である。 ①場面設定を理解する②どういう情報が必要な状況であるか考える③自分が必要とする情報と関連する語句に着目して目的をもって聞き取る、といった手順で聞くことの言語活動を行うことが考えられる。			
通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
17	59.7	61.0	選択	−1.3
問題の内容	リーディング（さまざまな英文の読み取り）			
出題のねらい	必要な情報を読み取ることができる。			
授業改善の手立て	授業での言語活動やパフォーマンステスト、ペーパーテストなどで、広告、メニュー、メール、メモ、グラフなど、様々な形式の英語を読むことを通して、目的や場面、状況に応じて、必要な情報を捉えさせる活動を行いたい。具体的には、生徒が各自の判断で必要な情報を選び線を引いたり、教師が「必要な情報を探すためのキーワードは何か？」といった発問をしながら生徒から引き出すことも考えられる。			
通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
27	20.2	17.8	記述	2.4
問題の内容	場面に応じて書く英作文			
出題のねらい	対話の流れにあった英文を書くことができる。（「いっしょに行くことができるか」と相手を誘う）			
授業改善の手立て	毎時間継続的に短時間で行う活動（Small Talk等）を活用して、話すこと[やり取り]の活動に取り組み、質問したり答えたりしながらやり取りをする力を育成したい。言語活動では、表現内容の適切さや英語使用の正確さに気付かせたり、生徒に考えを整理させたりすることを何度も繰り返し、対話の流れに適切に応じる力を身に付けていくことが大切である。さらに、やり取りした内容を書くことへつなげていくことで、正確に書く力の向上も図りたい。			

目的・場面・状況に応じて、質問したり答えたりできる生徒

こんな姿をめざしたい!!

課題の見られる設問　5・10（2）

5　リスニング（さまざまな英文の聞き取り）
→英文を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを英語で書いて答える問題。

10（2）場面に応じて質問をする英作文の問題。
→前後の対話の流れに合った英文を書く問題。

分析と課題

- 聞いたり読んだりして把握した内容に適切に応じることに課題がある。
- 聞いたり読んだりしたことに対して、自分の考えや気持ちを表現する活動に慣れていない。
- 内容がわかっていても、英語で書く言語面でつまずいている場合も多い。

課題改善のために…
- 聞いたり読んだりした内容に関して、即興性のあるやり取りや自分の考えや気持ちを表現する言語活動に取り組む。
- 「話して書く」といった領域統合型の言語活動に取り組む。

日々の学習における改善・充実

読むことの活動のあとに…

例えば、教科書で日本文化についての話を読んだあとに…

What do you think?

こんな問いかけしてみませんか？

Small Talk①

I think Japanese Pop culture is becoming popular.

I think so too. For example, anime and manga.

・・・（次は何を言ったらいいかな？）

中間指導①（内容面を意識）

What are their good points?

What will you say next?

生徒とやり取りをしながら、生徒から考えなどを引き出す。

Small Talk②

I think ～.

We can read manga English.

I heard that～.

Oh, really. Did you read it?

中間指導②（言語面を意識）

気になることは？

何を聞きたかったのかな？

どうすれば、伝わる？

活動→指導→活動→指導・・・を繰り返す。

Now, let's write your ideas on this topic.

Writing Time①

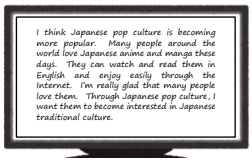
教科書で読んだことや友だちとのやり取りをもとに…

やり取りしたときのAさんの意見も良かったから、取り入れてみよう

Sharing Time①

Let's share!

What are B-san's good points?



大型提示装置等を用い、生徒とやり取りをしながら内容面、言語面の良さを共有する。
→自己調整につなげる。

Writing Time②

Sharing Time②

Let's share with your friends.

内容で参考になることはあるかな？
英語の間違いはないかな？

授業改善のPOINT

- 学習したことを「自分なら…」と考えさせ、気軽に、日常的にアウトプットする場面をつくる。
- 中間指導では、内容面と言語面の指導を意識する。
- 自分が使った英語を振り返る場面をつくる。

教育課程実施状況調査 中学校 英語

実施生徒数（人）	設問数（問）	県正答率（%）	全国正答率（%）	県−全国正答率（ポイント）
606人	32問	52.9	54.1	−1.2

		県正答率（%）	全国正答率（%）	県−全国正答率（ポイント）
領域	聞くこと	66.6	66.2	0.4
	読むこと	50.7	52.5	−1.8
	書くこと	42.7	44.5	−1.8
観点	知識・技能	60.2	61.8	−1.6
	思考・判断・表現	37.0	37.3	−0.3
	主体的に学習に取り組む態度	53.4	53.4	0.0
解答形式	選択式	60.6	61.4	−0.8
	短答式	51.6	54.6	−3.0
	記述式	27.2	28.1	−0.9

設問別正答率

通し番号	解答形式	観点			領域			問題の内容	出題のねらい	県正答率（%）	全国正答率（%）	全国との差
		知	思	態	聞	読	書					
1	選択	◎		◎	◎			リスニング（内容理解）	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。（状況）	96.2	94.3	1.9
2	選択	◎		◎	◎				絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。（比較級・最上級）	89.4	89.8	−0.4
3	選択	◎		◎	◎				絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。（条件と行動）	72.3	71.4	0.9
4	選択	◎		◎	◎			リスニング（対話文の応答）	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。（見てもいいかとたずねられて）	61.6	61.0	0.6
5	選択	◎		◎	◎				対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。（Tシャツを母親に買ってもらったのかとたずねられて）	56.3	58.2	−1.9
6	選択	◎		◎	◎				対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。（何をしたかとたずねられて）	67.8	67.7	0.1
7	選択	◎		◎	◎			リスニング（さまざまな英文の聞き取り）	英文の概要を聞き取ることができる。	78.5	79.9	−1.4
8	選択		◎	◎	◎			リスニング（さまざまな英文の聞き取り）	英文の要点を聞き取ることができる。	61.6	56.1	5.5
9	記述		◎	◎	◎			リスニング（対話文の応答）	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。	15.7	17.4	−1.7
10	選択	◎				◎		語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。（be動詞の過去の疑問文）	24.4	25.7	−1.3
11	選択	◎				◎			語形・語法を理解することができる。（疑問詞 when）	75.9	76.3	−0.4

12	選択	◎				◎		語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。（一般動詞過去の疑問文）	41.1	43.7	−2.6
13	選択	◎				◎			語形・語法を理解することができる。（疑問詞＋名詞で始まる疑問文）	48.2	54.7	−6.5
14	選択	◎				◎		語彙の知識・理解	対話文の情報を正しく読み取ることができる。	76.4	77.9	−1.5
15	選択	◎				◎				71.1	77.8	−6.7
16	選択	◎				◎		さまざまな英文の読み取り	英文と情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	59.9	61.7	−1.8
17	選択		◎			◎				82.0	80.3	1.7
18	選択	◎				◎			対話の流れと資料から、適切な語（句）を判断することができる。	51.5	45.8	5.7
19	選択		◎			◎			対話の流れから、登場人物の適切な発言を判断することができる。	41.7	44.5	−2.8
20	選択	◎				◎		長文の読み取り	下線部thisが指す内容を把握することができる。	53.3	54.1	−0.8
21	選択	◎				◎			メールの内容から、適切な語句を選ぶことができる。	20.3	22.6	−2.3
22	選択	◎				◎			メールの内容を把握することができる。	43.1	46.8	−3.7
23	短答		◎			◎			メールの内容をふまえて、適切な語を補うことができる。	21.0	23.6	−2.6
24	短答	◎					◎	単語の並べかえによる英作文	英文を正しい語順で書くことができる。（SVOOの文）	53.5	59.5	−6.0
25	短答	◎					◎		英文を正しい語順で書くことができる。（比較表現を含む疑問文）	41.1	45.9	−4.8
26	短答	◎					◎		英文を正しい語順で書くことができる。（don't have to ～の文）	71.3	71.9	−0.6
27	短答	◎					◎		英文を正しい語順で書くことができる。（as ～ as …の文）	71.1	72.1	−1.0
28	記述		◎	◎			◎	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。（whenを使って時をたずねる）	15.3	16.3	−1.0
29	記述		◎	◎			◎	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。（相手がいちばん好きな季節をたずねる）	35.5	37.4	−1.9
30	記述		◎	◎			◎	3文以上の英作文	部活動に対する自分の考えや意見を書くことができる。	26.7	30.0	−3.3
31	記述		◎	◎			◎		自分の考えや意見の理由や説明を書くことができる。	41.9	40.5	1.4
32	記述		◎	◎			◎		テーマにそって、3文以上の英文で書くことができる。	28.2	27.0	1.2

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。（知）知識・技能、（思）思考・判断・表現、（態）主体的に学習に取り組む態度
【領域について】（聞）聞くこと、（読）読むこと，（書）書くこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
8	61.6	56.1	選択	5.5
問題の内容	リスニング（さまざまな英文の聞き取り）			
出題のねらい	英文の要点を聞き取ることができる。			
通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
17	82.0	80.3	選択	1.7
問題の内容	リーディング（さまざまな英文の読み取り）			
出題のねらい	英文と情報・条件をもとに，適切なものを選ぶことができる。（必要な情報を捉えることができる）			
通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
18	51.5	45.8	選択	5.7
問題の内容	リーディング（さまざまな英文の読み取り）			
出題のねらい	対話の流れから、登場人物の適切な発言を判断することができる。			

【課題が見られる設問】☆次のページに「読むこと」の言語活動における改善ポイントを提示

通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
13	48.2	54.7	選択	−6.5
問題の内容	語形・語法の知識・理解			
出題のねらい	語形・語法を理解することができる。（There are 〜.の疑問文）			
授業改善の手立て	「疑問詞＋名詞」で始まる疑問文の語順に関する設問は経年課題となっている。帯活動やSmall Talkを活用し、既習事項に繰り返し触れることを意識することが大切である。言語活動の際には、表現内容の適切さや英語使用の正確さを確認したり、適切にフィードバックを与えることを意識したい。			
通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
22	43.1	46.8	選択	−3.7
問題の内容	リーディング（長文の読み取り）			
出題のねらい	メールの内容を把握することができる。			
授業改善の手立て	まとまりのある文章のあらすじを捉えることができるように、内容が理解できる文や語句を手掛かりとしながら、読み取りづらい部分も推測して読み進めていけるようにしたい。そのために、文章全体や段落ごとにタイトルをつけさせる活動や、物語を読みタイムラインなどで出来事を順に整理する活動、書き手が伝えたい部分に線を引かせる活動、要約文を書かせる活動などを行うことが考えられる。			
通し番号	県正答率（%）	全国正答率（%）	出題形式	全国正答率との差（ポイント）
30	26.7	30	記述	−3.3
問題の内容	3文以上の英作文			
出題のねらい	テーマに対する自分の考えや意見を、理由や説明とともに書くことができる。（目的・場面・状況に応じて書く）			
授業改善の手立て	テーマに対する自分の考えや意見を書くことに課題がある。普段の授業で、聞いたり読んだりしたことを、それだけにとどめずに、その内容について自分の考えを話したり書いたりする活動に取り組むことが大切である。例えば、教科書本文を読み、そこで取り上げられている題材に関して、書き手の主張をまとめたり、話題になっていることについてペアやグループで伝え合ったりすることで、自分の考えを整理して感想や意見を書くことにつながる。			

こんな姿をめざしたい!!

まとまりのある文章から概要や要点を読み取れる生徒

課題の見られる設問　8（3）

・長文の読み取り問題。

→メールでのやり取りを読み、本文の内容に当てはまらない英文を選ぶ問題。

分析と課題

・まとまりのある文章を読んで、話の概要を理解する問題に課題が見られた。

・まとまりのある文章を読むときに、一語一語の意味や、一文一文の解釈にとらわれてしまうと、おおまかな流れの把握や書き手が伝えたいことを理解しづらくなる。

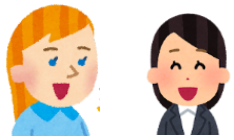
課題改善のために…
読む目的や言語活動の工夫により、文脈（場面や状況）や前後の語句を手掛かりに、推測して読み進める力を育てる。

日々の学習における改善・充実

読むことの活動で

読む前に

ALT とのやり取りでトピックについて予想させたり



JTE-ALT 間だけでなく、T-Ss のやり取りも意識しましょう。

トピックについて知っていることや、自分の考えをやり取りすることを通して、情報や考えなどを広げたりする活動に取り組む。

Small Talk を活用しましょう。

読む前に

読む目的を確認したり、
発問により読むポイントを意識したりする。

Today, we are going to talk about this article with our ALT.

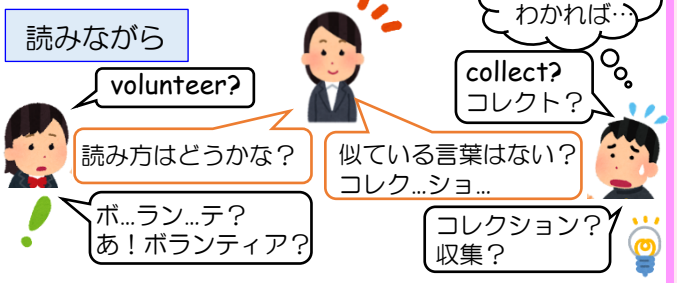
What does the writer want to tell us?

We are going to make a video to tell about the article.

読みながら

まずは、目的をもって「読むこと」に自力で取り組ませる。
読みながら、必要に応じて単語等の指導を行う。

読みながら



※単語等の指導のタイミングは様々だが、読む目的を設定することで、読みながら、生徒の「知りたい」を引き出すことができる。発音や派生語から考えたり、使われている文脈から推測したりするよう促す。

読んだあとに

読んだことについて、伝えあったり、発表したりする活動を設定することで、目的をもって読むことができ、読むポイントもはっきりする。

テキストに応じて

テキストの種類に応じて、いろいろな読み方に取り組む。
例えば…

・時系列で書かれた文章→　タイムラインをつくる、イラストの並び替え
・エッセイや物語→　段落ごとにタイトルをつける
・意見文や説明文→　図表を埋める（キーワードを埋める）など

授業改善のPOINT

・読む前に、既習事項や情報、自分の考えなどを活性化させる活動を取り入れる。
・テキストの種類によって、読む目的や言語活動の設定を工夫する。